



料金受取人払

3 9 9 0 2 9 0

茅野局承認
1567

差出有効期限
令和6年4月
30日まで
切手不要

長野県諏訪郡富士見町落合 10777

富士見町議会 行き



みなさんの **声** を聴かせてください

貴重なご意見ありがとうございます。
もしよろしければ該当欄にマル印をつけて投函してください。

10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代・80代・90代以上
男性・女性

VOICE オープンミーティング 中止は非常に残念

議長の名取久仁春です。オープンミーティングに替わり、ハガキにて皆さまの声を募集いたしますのでお伝えください。さて、今12月議会において、請願・陳情書の取り扱いに新しい動きがありました。それはすべての請願・陳情者（6件）に委員会出席いただき、生の声を聴いた事です。やはり請願・陳情書を挙げる以上は、説明責任がある事を請願・陳情者も受け止めていただきたいと思います。委員会での議論も活発であった気がします。今後もこのようにしていければと思います。

POST SCRIPT 編集後記

早いもので議会の任期も残り3か月です。「もっとよく見えわかりやすく 開かれた議会へ」議会基本条例に掲げられた理念を具体化すべく、「議会改革の本丸は、議会だより改革である」の信念を持ち、編集してまいりました。コロナの影響で住民の方々との交流が減っている中では、双方向のコミュニケーションを議会広報が担わなければならないと考えています。次の議会だよりは統一地方選挙後に新しい編集委員会の編集になりますが、信頼の回復と共に、繋がりに寄与できる紙面になりますよう、引き続き努力してまいります。ありがとうございました。 文責者 牛山基樹

全員協議会での 町関係協議事項

第8回 10月13日
1. 第526回令和4年10月富士見町議会臨時会の開催について (副町長)
第9回 10月19日
1. 令和5年度町長方針 (町長)
2. 第6次富士見町総合計画 目標人口について (総務課)
3. 野犬対応について (建設課)
4. 事業進捗状況について (総務課)
5. パノラマリゾート経営状況【9月】について (総務課)
6. 新型コロナウイルス感染症対策関係経過報告 (総務課)
7. その他 ・損害賠償について ・住民懇談会について (総務課)

第10回 11月18日
1. 12月定例会について (副町長)
2. 総合福祉拠点の整備について (住民福祉課)
3. 事業進捗状況について (総務課)
4. パノラマリゾート経営状況【10月】について (総務課)
5. 新型コロナウイルス感染症対策関係経過報告 (総務課)

第11回 12月14日
1. 12月定例会追加議案について (副町長)
2. 八ヶ岳西麓ワイン特区について (産業課)
3. 境小学校前太陽光発電計画について (総務課)
4. LINEを活用した告知放送に関するアンケート調査結果報告 (総務課)
5. 事業進捗状況【11月】について (総務課)
6. パノラマリゾート経営状況【11月】について (総務課)
7. 新型コロナウイルス感染症対策関係経過報告 (総務課)
8. その他 ・第6次富士見町総合計画(前期)勉強会について (総務課)

議会を傍聴しませんか?

※会期中であれば傍聴席から傍聴可能
※入退場自由。役場4階へお越しください

定例会(予定)
3/2 木
一般質問(予定)
3/6 月・7 火

議会活動

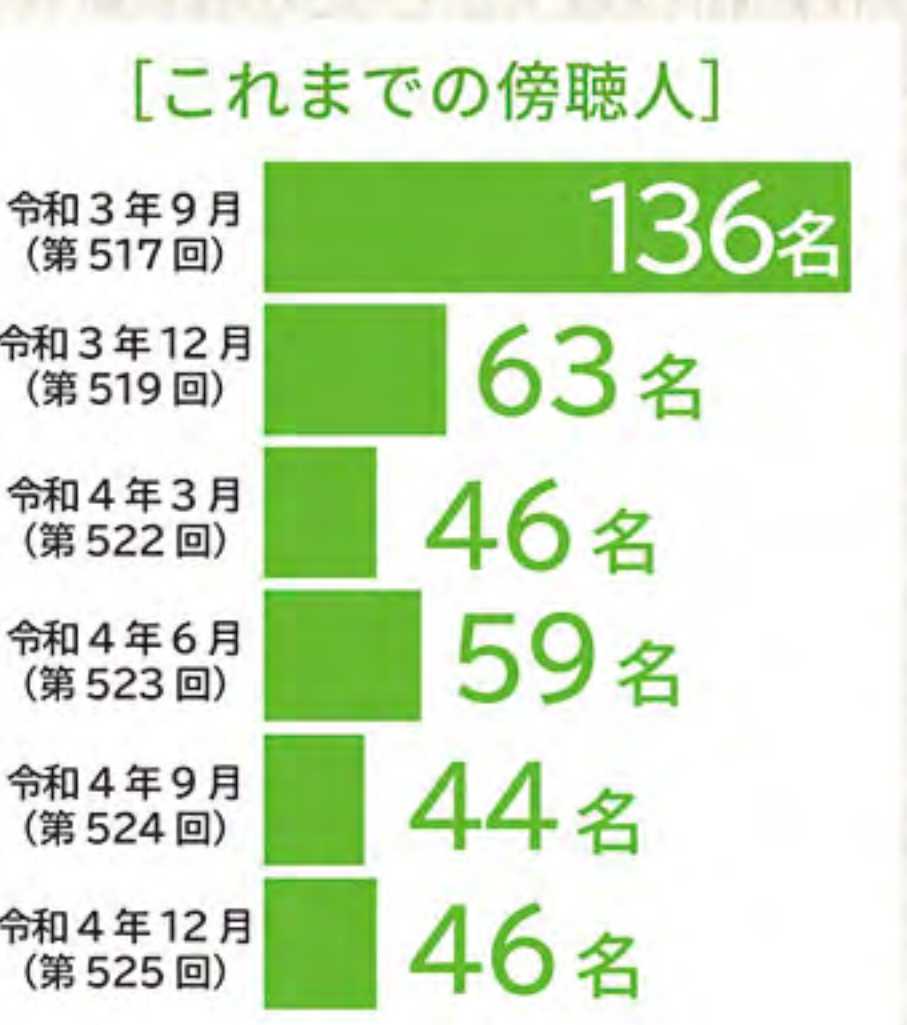
富士見町議会期間 令和4年10月～12月

10月
1日 赤彦祭
4日 議会改革実行委員会
13日 議会臨時会・議会広報編集委員会
14日-16日 社会文教所管事務調査
18日 諏訪広域公立大学事務組合議会定例会・富士見駅北通り線開通式
19日 議会全員協議会
21日 愛知県幸田町議会視察
27日 長野県高校再編富士見町追加説明会

11月
2日 町政功労者表彰式
3日 富士見町総合文化祭 開催式典
4日 第17回長野県地方自治政策課題研究会
8日 議会改革実行委員会
14日 議会広報編集委員会
15日 臨時議会全員協議会(議員のみ)
18日 議会全員協議会
24日 議会運営委員会・諏訪湖流域治水促進期成同盟会

12月
1日 12月定例会開会・上程・議案説明/議会改革実行委員会
2日 12月定例会質疑・委員会付託
5日 一般質問①
6日 一般質問②
7日 常任委員会
12日 パノラマスキー場開場式
13日 議会勉強会
14日 議会全員協議会/議会運営委員会/確定議
22日 議会広報編集委員会
26日 第6次富士見町総合計画 議会勉強会/議会全員協議会

★新型コロナウイルス感染拡大を受け書面決議議長公務日程は除く



VOL 177

議会だより

令和5年2月1日発行

「議会広報編集委員」
委員長：牛山基樹 副委員長：三井新成
委員：織田昭雄・川合弘人

発行：富士見町議会 編集：議会広報編集委員会
お問い合わせ：富士見町議会事務局 ☎0266-629403
〒399-0292 長野県諏訪郡富士見町落合10777



議会だより

VOL 177 令和5年2月1日

活用 文化遺産の調査、収蔵から

特集I 学びを活かす

特集II

提案!!

テーマは オープンミーティング3度目の中止... 担当議員はこう分析!

もっとよく見えわかりやすく 町民に開かれた議会へ



富士見町議会だよりは議会ホームページでもご覧いただけます
<https://www.town.fujimi.lg.jp/site/glkaf>



第8・9回 富士見の日のフォトコンテスト・佳作「冬の三重奏」 福嶋良品



文化遺産の調査、 収蔵から活用へ

井戸尻考古館の新館建設構想を受けてー

社会文教常任委員会は10月14日、15日の両日、青森県八戸市の埋蔵文化財センター是川縄文館、八戸市博物館、青森市の三内丸山遺跡センターを訪問し、文化財保護、活用の取り組みを視察しました。また、2019年11月には新潟県の十日町市博物館を視察しました。

青森、新潟両県への訪問は、井戸尻考古館の新館建設構想を受けたものです。議会として、文化財行政への理解を深めるとともに、新館の在り方を考える材料を得る目的で実施しました。



社会文教常任委員会が視察した三内丸山遺跡の大型掘建柱建物

青森

八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館

遺跡の外で交通アクセスの良い場所に移転建設

学び
ポイント



1万3700平方メートルの広い敷地に建てられた是川縄文館の新館

《是川縄文館の概要》

- [建設の方針] 史跡整備・活用・管理の拠点、出土品の展示と体験学習の場。緊急発掘調査に対応する施設。
- [建設地の選定] 史跡の保護と、広い敷地を確保でき、交通アクセスの良さを考慮した。
- [建設のコンセプト] 縄文文化を発信する施設。埋蔵文化財を積極的に公開し、活用する。適切な保存管理を行う。
- [特徴] ボランティアが活動する専用室「ボランティアルーム」や体験学習を行う専用の部屋を館内に併設
- [観覧料] 大人250円／市内の小中学生は無料

是川縄文館の一般収蔵庫。来館者も通路から見る事ができる

新館は2011年に開館、総事業費は24億2000万円（財源内訳：国庫2億9000万円、起債19億3000万円、一般財源2億円）、敷地面積は1万3700平方m。国宝の合掌土偶を展示しています。八戸市内には、縄文時代前期から晩期の遺跡群があり、総称して「是川（これかわ）遺跡」と呼ばれています。旧館は、遺跡群の中に建てられていましたが、新館は遺跡のない場所を選定。広い敷地が確保でき、交通の便の良い場所に移転新築しました。曾利遺跡の上に建設した井戸尻考古館と共通する点があります。



三内丸山遺跡センター

遺跡を知り、体感し、親しむ場に

学び
ポイント



体験工房。子どもたちが勾玉作りに取り組む

三内丸山遺跡は縄文時代前期から中期にかけて、長期間にわたり、定住生活が営まれた大規模な拠点集落。膨大な量の土器や石器、日本最多の2000点を超える土偶が出土しました。祭祀遺物、多種多様な動物の骨、魚の骨、クリやクルミなどの堅果類も出土。定住し、季節に応じて巧みに自然資源を利用したことを伝えています。遺跡センターには、国内外から多くの見学者が訪れています。遺跡を知り、体感し、親しむことができるように、調査、研究、保存、展示と併行して活用、教育にも取り組んでいます。年間約20万人が訪れる人気の施設です。

〔観覧料〕大人410円／高校・大学生200円



たくさんの遺物を収めた三内丸山遺跡センターの収蔵庫

活用に向けた取り組み

1 遺跡ガイド

地域住民が務めるボランティアガイドが遺跡を案内し解説するサービスを行っています。スマートフォンによる音声ガイド、タブレット端末を通じて発掘調査や、当時の生活を見ることができるガイドシステムによる情報提供も充実しています。

2 体験プログラム

土器・土偶・アクセサリ作りなど、縄文時代の人々の知恵や技術に触れる体験プログラムを用意しています。

3 発掘調査現場

毎年夏から秋にかけて発掘調査の現場を公開。担当職員による解説も行っています。

新潟

新潟県の十日町市博物館

海外へも積極的にアピール

学び
ポイント

旧館の老朽化、耐震構造の問題から、建物の更新計画に着手しました。旧館の改修案、新館建設案など様々な案を検討し、最終的に隣接地に新館を建設。事業費は23億8000万円。財源は合併特例債を活用しました。深鉢型土器としては国内で唯一の国宝「火焰型土器」などを展示しています。海外へも積極的にアピールしています。訪問当時、新館は完成直前で、新旧両方の博物館を見学することができました。



完成した十日町市博物館の新館（十日町市博物館提供）

学びの
まとめ

文化遺産は富士見町の財産

世界文化遺産に登録された青森県内の遺跡、考古館・博物館を見学し、共通して指摘されたことは「文化財の活用」でした。埋蔵文化財は地域の資源、財産です。調査、収蔵に加えて、遺跡を整備して活用することが、拠点施設の役割として求められます。常設展示室、企画展示室のほか、ボランティアルーム、体験学習室を通じて、住民が来館者と触れ合う場となしてほしい。住民と来館者が地域の魅力を再発見し、誇りや愛着を感じられるような取り組みが求められます。新考古館は、遺跡エリアの外に建設し、広い敷地を確保する必要だと考えます。収蔵庫は、緊急発掘による将来的な増加を見越して、十分なスペースを確保してほしい。富士見町は町内全域に縄文時代の遺跡が点在します。文化遺産、環境の保全と活用は、町にとって重要な課題です。豊かな自然環境を守り、観光事業にも活用しながら、縄文の遺跡を調査、研究していくことが町の発展にもつながると考えます。さまざまな体験プログラムやイベントを実施し、訪れた人たちが楽しく縄文文化に触れられる場を用意してほしい。文化遺産は富士見町の財産であり、遺跡や出土品、自然環境を通じて、時を超えた旅と一緒に体感できれば素晴らしいと思います。

文責 川合弘人

オープンミーティング3度目の中止...

担当議員はこう分析！ どうしたらもっとよくなるか？

テーマは 提案!!

2022年11月19日に開催されるはずであった「オープンミーティング」。長野県医療非常事態宣言を受けて11月15日の議会全員協議会で協議。工夫して開催したいという議員2名、感染拡大防止の観点から中止8名、この段階で決められない1名。話し合いの結果議会は「中止」を決定しました。『コロナ』の感染拡大防止とはいえ、3年間直接住民との意見交換がなされないことを議会として残念に思い、担当するはずだった議員が、今回のテーマについてどうしたらよくなるのか、“提案!!”をテーマとした特集としてお伝えします。

意見交換予定だったテーマ

- 1 公共施設統廃合について
- 2 少子化対策とFターン施策
- 3 議員報酬について



あなたの
声
が
聞きたかった...

このテーマを
選んだ理由

公共施設

このテーマを
選んだ理由

公共施設再編方針に基づき、公共施設の整備計画が進みます。小学校を例にすると2035年は、全町の児童数が456人。それは2015年の富士見小学校1校455人とほぼ同人数です。2025年から「あり方検討会が開催予定」ですが、先駆けて皆さんの考えをお聞きしたいと考えました。



五味 平一 議員

計画期間は2017年度から40年間（現在6年目）
その多くは「学校教育系」「行政系」「観光」
等全ての施設であり町民議論が重要

学校教育系施設 少子化により児童数は、2015年度の788人に対し2035年度の児童数は456人と予測、2015年度の富士見小学校の全児童数455人とほぼ同数と見込まれ、仮の考えとして2035年以降に小学校を一校に、保育園も5園を3園に統合を検討し、行政系施設 旧落合小学校・旧南中学校、校舎以外の施設は処分。観光施設 パノラマリゾートは大規模施設のため、全体的な改修は困難、計画的に施設整備を行い、つたの湯・農畜産物処理加工施設・おこと亭は、必要修繕を行い現状維持しつつ、民間事業者等へ譲度を検討する。

今後、公共施設の 更新が課題に



矢島 尚 議員

人口/財政状況の動向を
踏まえた計画的な施設
管理が必要

町が保有する公共施設は、施設数82箇所、延床面積 84,665 m²。その内、30年以上経過した建物床面積は 53,210 m²、63%をしめている（学校教育系施設 28.8%）。公共施設再編方針計画は2056年までに延床面積を 38%削減する基本方針計画がある。2035年の町内3小学校、富士見小311名・本郷小91名・境小53名、全児童数は455名。今の富士見小全児童数とほぼ同数。また2045年には富士見小256名・本郷小57名・境小50名、町内全児童数363名と見込まれ統廃合をせざるを得ない危機的現状が迫っている。

保育園、小学校は現状
維持建て替えとし、他の
耐用年数に到来した施設
は他施設と統合し、解体



三井 新成 議員

住民調査における町政の施策評価においては、公共施設の適切な維持管理が行われているとの結果が提示されました。しかし、今後10年20年先には小学校の建て替えが必要となり、続いて各保育園も同様となります。そこでそれぞれの統合する議論となりますが、子供たちを育てる生活圏をとらえた環境としては、統合することなく現状建て替えが最良と考えます。他案として小中一貫校とするならば、南中学校も復活させるべきと考えます。

少子化対策と Fターン

赤ちゃんが増えないわけは何だろう？
帰ってきたい町ってどんな町なのか？
多岐に渡って施策が打たれていますが、効果を上げていくために住民が望む事について、声を聞かせていただきたいと考えました。



五味 仙一 議員

「超少子化」の次は 何と云えばいいの？

兄弟姉妹の1人が生家を守り、他の兄弟姉妹が旦那さんや、お嫁さんと子どもを連れて戻ってくる町

町内には、三人姉妹の1人は生家を守り、1人は町内で結婚し家を新築、1人は一旦町外で生活し、出産を期に旦那さんを連れて町に戻って家を新築し、それぞれ家庭を築かれ、姉妹合わせて10人の子供さんを養育されているという少子化対策の鏡のようなケースも実在します。



少子化対策の対策に 必要なことは

待った無しの現状には、
実態の把握と具体的で効果の高い支援こそ必要



牛山 基樹 議員

富士見町の出生数は平成27年に100人を切って以降下落し、令和3年度は57人と超少子化が加速、深刻な状況にある。人口対策は「2045年に11000人を維持する」というような漠然とした目標ではなく、「10年後の小学校入学人数100人にする」というような明確な目標を立て、そのためには何が必要なのか検証し、具体的な施策を打つことにある。それには、20代30代の声を徹底的にお聴きして、必要とする支援に合わせた効果のある施策へと反映させることにある。

希望の持てる街には 移住者は増える

富士見町の豊かな自然。その自然景観を
護り育てる住民の熱意と
行政の日常の営為



島 正孝 議員

人口減少、少子高齢化対策は、どこの自治体にとっても喫緊の課題である。我が富士見町に提案したいのは、特に若者にとっての魅力的な街づくりを大胆に打ち出すことである。具体的には、富士見町内の自然環境を徹底的に護る。その一つに、野立ての大小の太陽光発電施設の開設全面禁止。そこでゆったりとした時間の流れの中での安心した子育てと納得できる教育環境。もうこれだけで富士見町に魅力を感じ引越して町内に住み続けたい若者は予想以上に沢山いるだろう。

議員報酬

このテーマを
選んだ理由

『果たして妥当な議員報酬とは？』
4月に統一地方選挙を控えており、議会に多様な人材に参画が求められています。一方で議員報酬の少なさから若者が手を挙げづらいとも言われています。

なり手不足解消の ツールではない

地方分権の進展による業務の高度化・専門化で、議員活動に費やす時間が増加



小倉 裕子 議員

富士見町議会議員定数は、6市町村合併が持ち上がった際に合併ありきで定数削減が行われ現在に至っている。しかも議員活動には高度化・専門化が求められてきており片手間ではできない状況となっている。それに見合う議員報酬の議論は今後必要になるかもしれない。しかし、それより4年ごとに選挙があること、社会保障の仕組みがないこと等、若い世代が担うにはリスクが伴うと考える。またある程度の経験と知識も必要とされる。まずは議員の仕事と報酬の仕組みの周知が必要。

議員報酬について

富士見町議会議員の議員報酬は月20.1万円。手取りは16万円になりません



名取 武一 議員

今この議会でも議員のなり手不足が大きな課題となっています。特に町村の議員です。議員は住民の代表として町の意思を決定する重大な職責を持っています。議員は町民の信頼にこたえるため、自己の能力、資質の向上に努めなくてはなりません。その議員の収入がワーキングプア並の収入でよいでしょうか。今の状況では、年金生活者など、他に収入の糧がある方以外は議員として生活することはできません。

議会改革として 議員報酬を考える

地方議会の重要性が高まる中で、議員報酬も拡充に向けた議論を進める時



川合 弘人 議員

富士見町議会に限らず議会内にはこれまで議員報酬の議論を避けるような空気がありました。あっても、議員定数の削減に絡めた増額の議論でした。地方行政は、地方分権改革により大きな転換の時を迎えています。地方議会の重要性が高まる中で、議員報酬も増額に向けた議論をタブー視せずに進める時に来ていると思います。報酬は住民自治を担う議会の大きな条件であり、議員活動の量と質がより一層問われています。住民自治の在り方を問う議論でもあると思います。

25年見直し手付かずの 議員報酬

議員のなり手不足は無投票や議員の資質低下へと連鎖反応につながるのでは



織田 昭雄 議員

議員報酬は平成8年見直しされてから25年間、議員定数は18人から2人減、5人減と2度の削減で現在の11人に至っておりますが、議員報酬の見直しは先送りされてきました。常任委員会の所管は減少する訳ではないので議員の守備範囲は広がったのが現状です。多くの町村で成りて不足や無投票に危機感を抱いておりますが、グローバル社会の中では政治のプロとして働ける議員こそが「希望と夢に膨らみ光り輝く富士見」の町づくりを託せる人、そんな集団でありたい。

総務経済常任委員会

議案審査 抜粋

社会文教常任委員会

詳細についてはお近くの議員にお尋ねください

議案第9号 令和4年度 富士見町一般会計補正予算(第9号)

財務課 第3表 債務負担行為補正について【11,379千円】、令和5年4に航空写真撮影を予定。原村と合同事業で実施することにより経費を抑えたい。▶質疑では、原村との合同事業により、どのくらいの予算が抑えられるのかの質問に対し単独で実施するよりも400万円位の削減は見込めると回答。賛成多数で、原案のとおり可決すべきものと決した。

総務課 2款 総務費60テレワーク推進事業【636千円】、森のオフィスとリビングの電気料について増額補正▶質疑では、森のオフィスの電気料は使用者が負担すべきで、将来的に考えはあるか の質問に対し長期貸借契約が見込めるため、来年度その運営方法について検討したいと回答▶採決では賛成多数で、原案のとおり可決すべきものと決した。

産業課 6款 農林水産業費、03一般経費【154千円】、地域農業再生協議会補助金は、eMAFF(イーマフ)の対応に伴う補助金の増額▶質疑では、eMAFFとは何かの質問に対し、農業者が直接補助金を申請することができる国のシステムと回答▶採決では、賛成多数で、原案のとおり可決すべきものと決した。

2議案を審査。採決では、原案通り可決または承認すべきものと決した。

議案第1号 令和4年度 富士見町一般会計補正予算(第8号)の専決処分について

生活困窮世帯への緊急支援金。県事業として、住民税所得割の非課税世帯を600世帯、家計急変世帯を10世帯と見込み、計610世帯に1世帯3万円を補助する。質疑では「家計急変世帯をどのように調べるのか」とただし、「予測できない。しっかり周知する」と回答。

議案第9号 令和4年度 富士見町一般会計補正予算(第9号)

【住民福祉課】 町内事業者からの寄付金で財源補正を行った。質疑では寄付金の内容を質問。「チャリティーゴルフ大会の益金を寄付していただいた」と回答 **【子ども課】** 認可外保育施設に通う保護者の負担を軽減するため、町が費用を負担する。当初見込みよりも多くの園児が通園。計9人増により合計234万9千円を補正。学生Uターン新生活応援補助金は5人の申請があり、当初予算に不足が生じた。質疑ではPR方法を質問。「成人式の通知にチラシを同封し、ホームページにも掲載した」と回答 **【生涯学習課】** 先達公民館のトイレ周りを中心にリノベーション。総事業費は180万円で、補助率25%。45万円を補助する。質疑では「宝くじの補助は使えないのか」とただし、「改築なので適用外だ」と回答 **【建設課生活環境係】** 民間企業から「環境関連事業に」と寄付金を受けて財源補正。質疑では事業内容を

議案第10号 令和4年度 富士見町水道事業会計補正予算(第1号)

PCBの照明器具は、どこの施設で、どのような形で見つかったのかの質問に対し、八ヶ岳第二配水池にPCBを含む蛍光灯の安定器があり処分するものと回答▶採決では、賛成多数で、原案のとおり可決すべきものと決した。

陳情第4-7号 消費税の事務に付加される適格請求書等保存方式(インボイス)の導入を延期するよう国に対する意見書の提出を求める陳情書

売上1,000万円以下の事業所は半数あり、インボイス制度について不安を抱えている。自分は登録すべきなのか、手続きはどうしたらいいのか、登録しないとどうなるのか、このまま商売を続けられるのか、税額はどれくらいになるかわからない▶反対討論として、国が制度として進めているので回避することは難しい▶賛成討論として、税理士の入る事業者は少なく、事務手続きも理解されていない中での導入は混乱を招く、国はさらに制度を周知し、個人事業主の方が理解してからスタートすべき▶採決では、賛成多数で、本陳情は採択し意見書を送付すべきものと決した。

ただし、「ゼロカーボン戦略調査業務委託事業に活用する」と回答。陳情3件、請願1件は、いずれも採択し、意見書を送付すべきものと決した。

介護保険制度の改善を求める陳情書

保険サービス利用料の2割、3割負担対象者拡大や、要介護1と2のサービス削減、ケアプラン作成の自己負担導入、福祉用具の貸与から購入への変更などについて、見直しを求めた。

安全・安心の医療・介護の実現のための人員増と処遇改善を求める陳情書

医師・看護師・介護職員を大幅に増員し、ケア労働者の賃上げを求めた。要介護1、2の人の生活援助等の介護保険給付を市町村の総合事業に移行すること等についての意見書提出に関する陳情書利用料の現状維持などを求めた。

要介護1、2の人の生活援助等の介護保険給付を市町村の総合事業に移行すること等についての意見書提出に関する陳情書

利用料の現状維持などを求めた。

「不登校児童生徒に対して多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書」の採択を求める請願書

不登校支援の一つとして、フリースクールなど民間施設の設立、運営補助などの経済的な支援制度の確立を国に求めた。



議案名等	議員	採決結果
【町長提出】		
議案第1号 令和4年度 富士見町一般会計補正予算(第8号)の専決処分について		承認
議案第2号 富士見町個人情報保護法施行条例		全会一致 可決
議案第3号 富士見町行政文書開示・個人情報保護審査会条例		
議案第4号 富士見町情報公開条例及び富士見町公の施設における指定管理者の指定の手続等に関する条例の一部を改正する条例		
議案第5号 職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例 ※議員の視点①へ		
議案第6号 地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例		
議案第7号 富士見町税条例の一部を改正する条例 ※議員の視点②へ		
議案第8号 町道の路線の認定及び一部廃止について		
議案第9号 令和4年度 富士見町一般会計補正予算(第9号) ※議員の視点③へ		
議案第10号 令和4年度 富士見町水道事業会計補正予算(第1号)		
議案第11号 令和4年度 富士見町下水道事業会計補正予算(第1号)		
議案第12号 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例		
議案第13号 特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例		
議案第14号 富士見町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例		

請願・陳情	議員	採決結果
陳情第4-12号 介護保険制度の改善を求める陳情書		全会一致 採択
陳情第4-13号 安全・安心の医療・介護実現のための人員増と処遇改善を求める陳情書		
請願第4-1号 免税軽油制度の継続を求める請願書		
陳情第4-14号 要介護1、2の人の生活援助等の介護保険給付を市町村の総合事業に移行すること等についての意見書提出に関する陳情書		

委員会・議員提出	議員	採決結果
議第10号 富士見町議会の個人情報の保護に関する条例		可決
議第11号 介護保険制度の改善を求める意見書(案)		全会一致 可決 (意見書送付)
議第12号 安全・安心の医療・介護実現のための人員増と処遇改善を求める意見書(案)		
議第13号 要介護1、2の人の生活援助等の介護保険給付を市町村の総合事業に移行すること等についての意見書(案)		
議第16号 免税軽油制度の継続を求める意見書(案)		

議案名等	議員	川合弘人	五味平一	矢島尚	小倉裕子	牛山基樹	島正孝	三井新成	織田武一	名取昭雄	五味仙一	採決結果
【請願・陳情】												
陳情第4-7号 消費税の事務に付加される適格請求書等保存方式(インボイス)の導入を延期するよう国に対する意見書の提出を求める陳情書【※令和4年9月 第525回定例会からの継続審査】		○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	採択
請願第4-2号 「不登校児童生徒に対して多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書」の採択を求める請願書		○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	採択
議第14号 不登校児童生徒に対して多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書(案)		○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決 (意見書送付)
議第15号 消費税の事務に付加される適格請求書等保存方式(インボイス)の導入の延期を求める意見書(案)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (意見書送付)

議員の視点

1 第5号 職員の地方公務員の定年等に関する条例の一部を改正する条例

この条例改正は、国が令和3年法律の施行により地方公務員の定年年齢を段階的に2年に一歳ずつ延長し、令和13年4月から満65歳定年とするもので役場職員も同様に改めるものです。また、管理職は役職定年の導入により61歳からは一般職に降任し、給料月額が7割水準に改正。民間企業でも65歳定年が浸透すると思います。文責 織田昭雄

2 第7号 富士見町税条例の一部を改正する条例について

急激な原油価格・電気料・諸物価の高騰が続いています。町内温泉施設では、入浴料の値上げを予定、検討しています。今後さらなる改定も想定されることから、課税免除規定を見直し、宿泊を伴わないで入湯する者に課せられる入湯税率を免除し規定を整理するものです。文責 三井新成

3 第9号 令和4年度一般会計補正予算教育費の「学生Uターン新生活応援補助金」に注目

奨学金の返済に、30万円を上限に10%補助します。この事業は、県外の大学、短大などに進学した学生が、富士見町へ戻って就職することを後押しする狙いがあります。若者の都会への流出を抑制できれば、人口減対策にもなります。働く場の確保も大事ですが、並行して、Uターンを促進する施策として期待できます。文責 川合弘人

町の考えを問う

12月定例会の一般質問は、12月5日、6日の両日行われました。9人の議員が登壇し、町と町教育委員会の考えを質しました。質問時間は、各議員に質問と行政側答弁を合わせて1時間割り当て、町側に通告した全項目を行います。質問順に、各議員の主な質問項目と、その答弁要旨を掲載します。

議員の視点

録画配信が始まりました。

議会改革の一環として、議会録画配信が始まりました。各定例会の一般質問2日間と最終日の内容が配信されます。富士見町のホームページから「富士見町の情報」→「町議会」と進みますと、「議会会議日程等」の欄に「〇〇〇〇録画配信」とあり、目的のものをクリックすることにより視聴することができます。



最終日の様子



一般質問の様子

質問順

- | | | |
|---|------------------------------|--|
| 1 | やしま たかし
矢島 尚 議員
議席 3 | 1. 新井戸尻考古館について
2. 森のオフィスを活用した「ファブラボ」の考えは
3. 道路危険箇所への安全対策を |
| 2 | おだ てるお
織田 昭雄 議員
議席 9 | 1. 地域おこし協力隊について
2. 令和5年度予算編成について |
| 3 | かわい ひろと
川合 弘人 議員
議席 1 | 1. 小規模集落が抱える課題にどう対応するのか
2. 地域の高齢化が進む中で、食生活推進協議会(食改)の活動をどう進めていくのか
3. 井戸尻考古館の新館建設などを通じて、町の文化財活用はどう取り組むのか
4. 町内全保育園が、「信州やまほいく」に認定されたことを受けて |
| 4 | ごみ へいいち
五味 平一 議員
議席 2 | 1. 令和5年度町長方針有害鳥獣対策(1)ニホンザルの行動把握について
2. 令和5年度町長方針有害鳥獣対策(2)ニホンザルの捕獲強化について
3. 旧落合小学校のスズメバチ駆除の依頼に対する職員対応について |
| 5 | なとり たけいち
名取 武一 議員
議席 8 | 1. 学校給食費の無償化について
2. 補聴器補助は認知症対策として拡充を
3. 富士見駅東側に送迎者用区域を
4. 公共施設屋根の太陽光発電施設設置について
5. この冬も福祉灯油の実施を |
| 6 | みつい しんせい
三井 新成 議員
議席 7 | 1. 令和5年度予算編成に向けての町長方針の基本方針について
2. 町長方針の重点政策・重点事業の推進について
3. 八ヶ岳西麓の豊かな自然環境と共生する未来に向けた西麓3市町村長による提言書について |
| 7 | しま まさゆき
島 正孝 議員
議席 6 | 1. 太陽光発電事業について直近3ヶ月間に事前協議申請の件数は
2. 不登校児童、生徒への多様な対応について
3. 放置されている町内の柿の有効活用について
4. 食文化の育成について |
| 8 | うしやま もとき
牛山 基樹 議員
議席 5 | 1. 第6次総合計画における、将来人口構造の課題と対策をどう考え、準備していくか
2. 住宅リフォーム事業補助金の評価について
3. 令和4年度住民懇談会をどのように総括しているか
4. 国連気候変動枠組条約第27回締約国会議 COP27をどう評価するか |
| 9 | おぐら ゆうこ
小倉 裕子 議員
議席 4 | 1. 県道「乙事富士見線」の歩道設置計画は
2. 「農畜産物処理加工施設」の有効活用は
3. 2大リゾートキャンペーンの効果について |

12月5日

12月6日

■ 質問順は、議会運営委員会の中で、委員によるくじ引きで決めています。■ 一般質問の要旨は、各議員がそれぞれ自分のページを責任編集しています。

道路危険箇所への安全対策を

答弁 改良を強く県へ要望していく

A (北通り線、県道乙事富士見線の交差点)
 ➡ 道路上に区画線や通行の制限等を行う場合には、公安委員会との協議が必要になる。公安委員会と協議したが、現在の形状で開通した。開通後、ご指摘のように町民からも数件同様な意見が寄せられた。一時停止の規制や標識など再度公安委員会へ要望していく。
 (県道信濃境停車場線)
 ➡ 道路改良と歩道設置の要望は毎年、県へ要望書を提出しているが進んでいない。毎年行われる町と関係機関による通学路合同点検の際にも危険性を説明している。今後改良を強く県へ要望していく。今まで県への要望は道路拡幅も含め要望を出していたが、ご指摘のように注意喚起の路面標示など出来ることを今後要望していく。

■井戸尻考古館新館建設について

Q 候補地・建設費・開館は?
A 現在、候補地は3~4ヶ所に絞り込んでいる、これまでの井戸尻考古館の歴史を踏まえ、現在地の周辺を軸に検討している。建設費用について算出していないが、近年建設された博物館や類似施設の

やしま たかし
矢島 尚 議員



単価や町の財政規模などから考えれば7~10億円程度が想定される。開館は未定だが今任期中に方向性は決める。新館建設は町の2大リゾート(パノラマ・高原)につぐ第3の観光拠点と考えられ色々な成果を生む典型的な事業。遺跡群の保護、研究、学びと体験学習、観光、地域活性化など様々な拠点になる。



すれちがいがギリギリの県道(井戸尻入口手前)

地域おこし協力隊が卒業後の定住率は

答弁 卒業隊員全員が起業や就職し定住

Q 地域おこし協力隊は何人が採用され、どこに配属されたか。卒業後は何人が町に定住したか。
A 富士見町では、平成27年森のオフィスの開設に合わせ協力隊員を2名採用したのを皮切りに、合計16名が社協、商業観光係、ウツリスムステーションや企画統計係などに配属され活躍している。7名は現役で、9名は卒業後全員が町に定住して起業や就職し、6市町村で一番定住率が高い。

おだ てるお
織田 昭雄 議員



17億8600万円、減債基金が約6億7000万円で、コロナの影響で生じた剰余金の一部積み立てなどで増加したが、多ければ良いものでもない。基金は財政運営的に不測の事態に備え、標準財政規模の20%は最低確保が必要と考える。

Q 隊員の活躍をあまり知らないと感じるが、隊員と町民の交流する機会をもっと増やしてみたい。
A 協力隊の皆さんをもっと町民に知って頂く為、町の広報で紹介コーナーを設けているが、もう少し工夫をして隊員の活躍を周知する必要が課題だと思う。隊員と町民の交流の場を工夫したい。

Q 令和5年の国の地方交付税は、増額か減額かの見込みと基金に対する考えは。
A 地方交付税は来年1月末頃、国から示される算定方法によって推計する。予算編成の段階では、令和4年度と大きく変わらないと推計し、編成作業をしている。基金については、令和3年度決算で財政調整基金が約



初めて2名の協力隊が赴任した森のオフィス

農地維持活動支援モデル事業の成果は

答弁 国の交付金を受けられる体制づくりを推進

かわい ひろと
川合 弘人 議員



Q 富士見型農地維持活動支援モデル事業は小規模集落が多い西山地区などで成果を挙げているか。

A 国の交付金を受けられる体制づくりを推進する。農地の維持、遊休農地発生防止の一助になる。非農家の増加、高齢化や後継者不足、町外在住で維持管理ができない人も。農村の自然環境保全、良好な景観形成などの多面的機能は町の大切な財産だ。富士見町の美しい風景、大切な資源を守るために、国の交付金や町の補助金を活用し、町と地域とが一体となり、管理されない農地を増やさないことに尽力したい。

■食改の活動をどう評価しているか

Q 食生活改善推進協議会への補助金は次年度も継続か、カットするのか。

A 補助金の見直しは慎重に判断する。当面は交付できるようにする。

Q 事業や活動の公益性をどう考えるか。

A 非常に公益性の高い事業、また活動に取り組んでいただいている。これからも、しっかりとその活動を支援させていただきたい。

■文化財の活用

Q 井戸尻考古館の新館建設を通じて、文化財の活用はどう取り組む考えか。ボランティアの活動スペースは。

A 縄文人の知恵や技術に触れる体験は考古館で実践している研究と展示のスタイルだ。学校とも連携した事業を進めたい。文化財を支えるボランティア活動など住民が参加できるスペースも必要だ。

Q 子どもたちによる土器などの表面採集は。

A 発掘調査の進捗状況を見ながら積極的に進める。



「毎年大変な作業」
遊休農地の雑草刈り取りは

令和5年度サル捕獲目標100頭捕獲手段は

答弁 行動把握・戦略的な環境整備し捕獲頭数100頭を目指す

こみ へいいち
五味 平一 議員



Q 町内のサル4群のGPS発信機の設置、受信管理は。

A サル被害対策として四つの取り組みを実施している。①電気柵等の侵入防止 ②森林及び環境整備 ③追い払い ④個体調整である。特にサルは20～30頭の群れで移動、GPS発信機による行動把握が重要視される。アニマルマップにて町が管理する。

Q 行動を把握し被害予察を行い告知するとあるが。

A 告知放送を予定している、町のホームページにあるマップへの掲載を検討。

Q サル被害予報を検討とあるが。

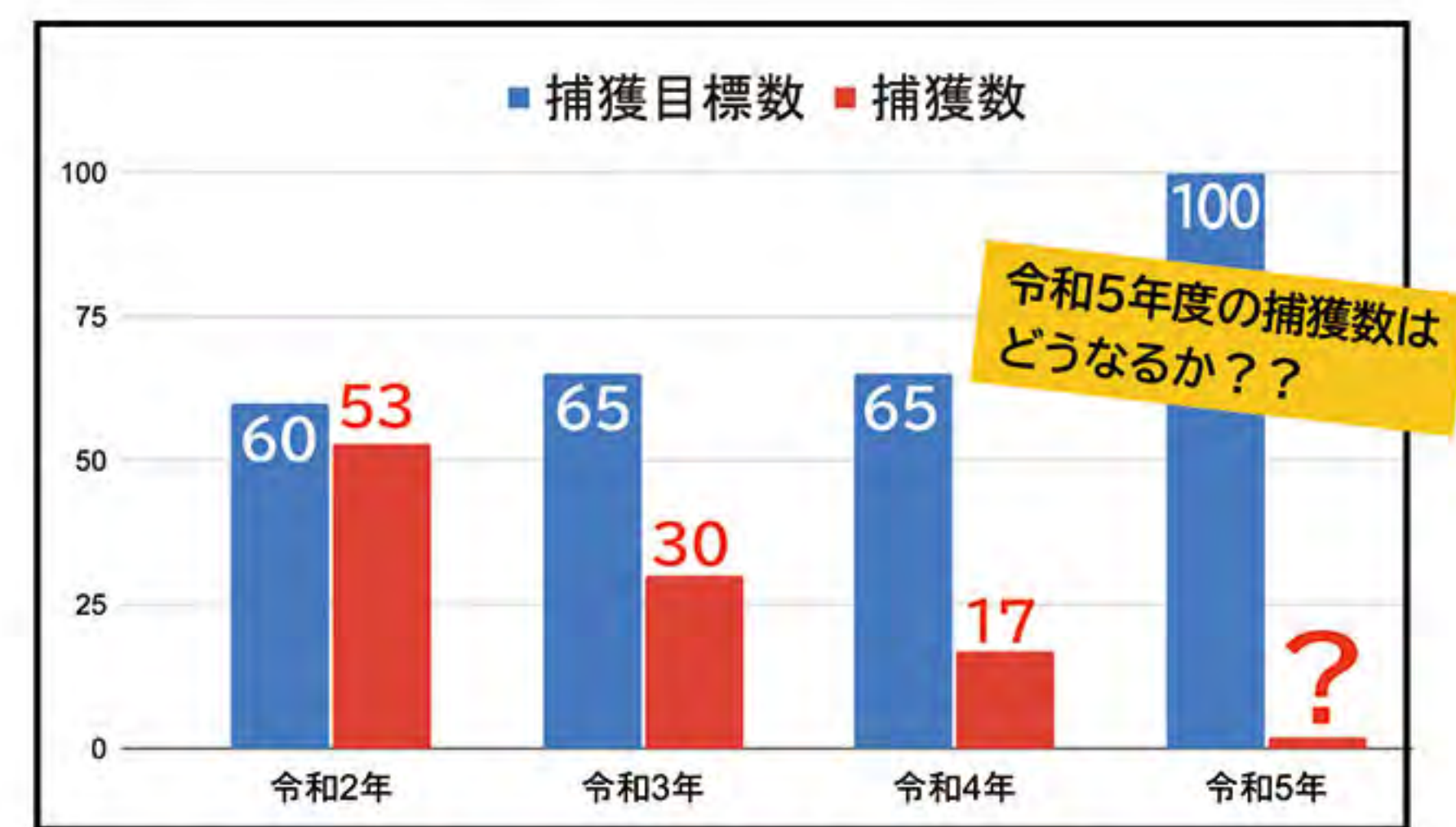
A サル被害を防ぐために、危機管理の手法を取り入れる。起こりうる被害を予測し警戒を呼び掛ける仕組み。

Q 捕獲強化に檻数を多くする囲い檻の導入、何台購入予定。

A 既にサル捕獲用は3基導入済み、5年度は県内の自治体で捕獲実績が上がっている新たな囲い檻の導入を考えている。これは設置や解体や移動が容易であって、移動するサルの群れの動向を監視しながら短時間で移動できる利点がある。

Q 年間捕獲頭数100頭を目標としているが目標達成の可能性は。令和5年度の有害鳥獣対策費は予定額概算で。

A 捕獲数のピークであった平成20年～27年(年平均127頭)までの捕獲実績を踏まえ、5年度の捕獲目標を100頭とした。令和5年度は新たな捕獲罠やGPS発信機を増強して、群れの行動把握と捕獲に向けた戦略的な環境整備を実施し、新たな取組を実施することで捕獲頭数100頭を目指す。予算については要求ベースであるが昨年度比15%増の3530万円程度で現在調整中。



R2年度から R5 年度サル捕獲目標と過去の実績
※令和4年度は10月末時点までの集計

学校給食無償化の実施を

答弁 良いと思うが、財源の確保が問題

なとり たけいち
名取 武一 議員



Q 学校給食費の無償化は県内でも21町村まで広がっている。町でも来年度から実施してはいいか。

A 県教委からは給食費無償化は13町村と聞いている。未来を託す子供たちが、健やかに成長する一助を担う学校給食を無償で提供できれば良いと思うが、財源の確保は避けて通れない問題。すぐに無償化を導入は難しい。

Q 学校徴収金は小学校年約7万円、中学校9万円超。小学生2人・中学生1人いれば、無償であるべき義務教育に一家で23万円を超す徴収金がとられている。

A 国や県の動向を見ながら取り組むべき課題と思う。

Q 無償化に要する費用は。

A 約6500万円。

Q 補聴器購入補助を始めたが、所得制限があり、また補助額も実施している他の自治体に比べて見劣りがする。高齢者の認知症予防のためにも対象者、補助額を拡充すべきではないか。

A 高齢者の認知機能の低下を防ぐために補聴器の役割の重要性は認められているが、全ての部位の加齢による影響に対しまして補助を出すのは難しい。

Q 朝、通学・通勤時には、駅西側は送迎の車が多く、渋滞している。この緩和のため 駅東側を送迎専用区域として整備することはできないか。

A 都市計画道路の見直し検討委員会の中で議論したい。当面町民センターの駅側駐車場を事故のないように気をつけて利用していただきたい。



町民センターの駅側駐車場

令和5年度予算編成に向けての町長方針は

答弁 若者が帰りたくなるまちづくりを目指す政策

みつい しんせい
三井 新成 議員



Q 帰りたくなるまちと愛着誇り参画意識とは。近隣市町村との連携とは。

A 人口減少とともに地域経済の縮小と産業や地域の担い手不足が予想され、空き家や農地の荒廃化も進み、加えて少子化により保育園や小学校の存続問題や行政サービスの低下等に影響を及ぼす。このような事態を打開していくためには、生産年齢人口を増やす必要があり、富士見町出身の20歳代の方のUターンに期待し、促進する必要がある。幼少期からの学習体験や経験を素晴らしい富士見で過ごしたことに愛着と誇りをもってもらい、成長とともに町への参画意識を高め、町へ帰って来ていただく事が重要と考える。近隣市町村との連携は、共通課題の取組として、環境分野のカーボンオフセットの仕組みづくりや、観光分野の鉢巻道路と八ヶ岳エコーラインの延伸や、農業分野ではブランドづくり等について、次期長野県総合計画の策定に反映をお願いした。

Q 観光、商業の集客力の強化とは、223世代育成支援事業とはその内容は。

A 来年度は、友好都市や姉妹町を対象にキャンペーンを行い、今後のリピーターにつなげる。創造の森公園等の整備を行い、愛称を検討し集客につなげる。2030年には100万人の町内来場者を目標にしている。

223世代育成支援事業は、総合的な少子化対策として出会い結婚出産子育て安心パッケージの事業であり、経済的負担を軽減する各種補助金と応援券を発行する。

令和5年度 町長方針

太陽光発電事業、直近3か月間の申請件数は

答弁 37件の申請があり、改正条例によって対応

しま まさゆき
島 正孝 議員



Q その他の取り組み内容は

A 2事業者から提出されている事前協議のうち、1件の申請は既に許可申請書も提出されており、今後環境保全審議会にて審議される予定である。その他36件の事前協議の申請については、別の一つの事業者から提出されており、現時点では事業計画前事前協議の段階である。

Q 関係区への積極的な情報提供は

A 今のところ行っておりません。

■不登校児童生徒への多様な対策とその効果は

Q フリースクールの設置、又はその活用は

A 学校では、不登校傾向の見られる児童生徒に対し、定期的な家庭訪問や個別懇談等をこまめに行っている。又、不登校になる要因は個々様々で、複雑な背景がある。フリースクールは民間やNPO法人が設置したものを指し、町では設置を考えていない。現在、フレンドリー教室という中間教室を設置・運営している。

■放置されている町内の柿の有効活用について

Q 柿は長い間、住民の食生活を支えてきた貴重な果物であった。自然食品、自然素材が求められる現在、

収穫されず、放置されている柿の実を、柿酢、柿渋としての活用は考えないか。

A 江戸時代から全国的に農家の庭に植えられ、干し柿にするなど貴重な冬の保存食であった。高い木の柿の収穫は困難であり、また食生活の変化で柿は有効に活用されていない。柿酢、柿渋は採算面にも課題がある。



ハクエイ南麓の冬空を彩る柿の実

新・省エネ住宅リフォーム補助金が必要では

答弁 理解する。来年度予算に前向きに考えていく

うしやま もとき
牛山 基樹 議員



Q 住宅リフォーム補助金の実績、その評価と現状は

A 平成23年度から1020件の利用、1億3687万円の補助になった。使いやすい補助金で多くの町民に使ってもらい効果があったが、申請できるのは1つの建物に1回、過去に補助金を受けた建物には再申請できない要件になっている。

Q 温暖化対策に一番効果があるのはエネルギーを使わない住宅環境の整備である。冬暖かく夏冷気が逃げない省エネ住宅や、高気密・高断熱住宅にリフォームしたくても、現状要件では再利用できない。環境配慮型住宅リフォームに活用できるような、新たな住宅リフォーム補助金の創設を提案するが考えは。

A リフォームによって省エネ住宅を増やす重要性を認識している。現状の補助金を再度使えるか、または新たな省エネ住宅リフォーム補助金を検討している。住民の意識を高め、町と一緒に取り組んでもらえるような補助にしたい。

■住民懇談会をどのように総括しているか

Q 限られた時間の中で膨大な資料を読むことでは内容が深まらない。深まらなければ幅広い質問や懇談にも繋がらない。事前に資料をホームページに掲載するとか、参加依頼する区長、組合長に前もってお渡し

し、読んできていただくことは出来なかったのか。また行政職員が会場に大勢参加する必要はなく、もっと地域住民が理事者と話しやすい雰囲気作りが必要ではないか。

A 課題として捉えているので、事前の準備について改善していく。



環境配慮型、省エネ住宅リフォームに補助

県道「乙事富士見線」の歩道設置計画は

答弁 都市計画道路の見直しと共に検討する

おくら ゆうこ
小倉 裕子 議員



Q 県道「乙事富士見線」の富士見駅前商店街を通る区間は、通学路にもなっているが歩道がない。また、建造物の老朽化などにより通行に危険を伴う状況となっている。都市計画にかかる道路ではあるが、人命最優先に早期に検討すべきでは。

A 都市計画道路の整備に着手できず、歩道の整備が行われていない。問題意識は強く持っている。今年度から都市計画道路の見直しを実施する。民意及び現状に沿った形で早期に進められるようにしていきたい。

■「農畜産物処理加工施設」の有効活用は

Q パノラマスキー場内にある、以前は「楽酪ミルク工房」が運営していた「農畜産物処理加工施設」について、用途変更処理を行い、スポーツジム等町民が気軽に利用できる健康増進のための施設にする考えは。

A そういう方向で県とも話しをしたが、補助金適正化法があるため難しいとの回答だったが、再度調整してみたい。

■2大リゾートキャンペーンの効果について

Q 重要なことは、キャンペーンを打って呼んだ利用者

がリピーターになってくれるかであるが、効果をどのように評価しているか。

A 日帰りができるリゾート地として認知がされた。観光は町に賑わいをもたらす。2大リゾートは富士見町の大切な観光資源である。今後は、それぞれの施設の特長も見極めながら、引き続き有効なキャンペーンを打って行きたい。



富士見駅前商店街

VOICE 議会活動報告

皆様こんにちは、議長の名取久仁春です。今回のオープンミーティングは3年連続の中止となり、皆様の生の声が聴けなくて残念です。そこで、議会活動報告では昨年から開始しました 2021年提言書が、どのように町の施策に反映されてきたか、焦点を絞って報告いたします。各議員が重要と思う提言を持ち寄り、議員全員で討論し全会一致で提言するものであり、議会活動にとって非常に重要であります。



提言書提出の様子

2021年提言書

提言1 支障木整備事業の促進と補助金の創設

小規模集落では、高齢化や後継者不足により支障木の除去も出来ない。そこで、集落や個人に対して支障木整備事業の促進と補助金の創設を提言。

町の施策… 地域運営支援事業を新しく立ち上げ、小規模集落へ金銭的な支援を行っていく。

進捗状況… 対象となる6集落のヒアリングを2022年度より順次着手。

提言2 超少子化対策

出生数の減少と持続可能なまちづくりの課題を併せマップ化、対策事業の促進

町の施策… 子ども課に子ども・家庭相談係を新設し、保健師を配置する事で相談窓口の一体化を図り、総合的な支援を行う。

進捗状況… 2022年4月に子ども・家庭相談係を新設した。また、子ども家庭総合支援拠点を2023年3月までに、庁舎2階に設ける。

提言3 JR富士見駅エレベーター設置計画

特急が停まる東京から松本間の駅で、エレベーターが無いのは富士見駅だけであり、バリアフリーの観点からも重要

町の施策… 県と協力して、JRとの交渉を3回程実施。

進捗状況… 乗降客数の少なさもあり、交渉は難航している。引き続き、県とも協力して交渉していく。

議会だより モニターさんの声

富士見町議会基本条例第4条第5項に基づく「議会だよりモニター」などにより、町民から議会運営・町政に関する要望、提言を聴取し、議会運営に反映させるよう活動を進めてきました。

社会文教常任委員会 まとめ



移住促進をする中で、地域に馴染めない家庭も少なくないだろう。母親同士が相談し合えないこともあると感じる。健診など定期的に関わる専門職などが、多方面と連携し、ネットワークを広げてほしい。

保健センターでは、随時、町内の病院と連携をして、医療関係者からの情報を提供している。また、助産師、栄養士、食生活改善推進協議会、子ども課とも連携し、個人情報に配慮しながら、母親の悩みに寄り添っている。保健センターは、子育て包括支援センターとして、子育てに関する悩みを聞いている。

社文
委員会



小学校のエアコン設置は、子どもたちのために必要と感じます。

中学校には各教室にエアコンが設置された。地球温暖化により、富士見高原も夏の猛暑は避けられない。小学校への早期の設置を要望していきたい。

社文
委員会



町外へ出た学生が、戻って就職する場合、30万円を上限として支援金を支給する施策が新設されたが、どれだけの効果があるのか。

今年度で2年目の町単独事業。就活への効果よりも、Uターン後の居住地を富士見町以外の諏訪地方から、町内に変更するきっかけとなっている。今年度は男性3人、女性3人が交付金を申請した。

社文
委員会

学びを活かす



議会勉強会

やまほいくに見る保育教育の可能性 ～子ども、行政、地域の視点から～

認定こども園「ちいろばの杜」(佐久穂町) 代表理事・園長 内保 亘 氏

長野県は、「信州やまほいく認定制度」を創設し、2022年10月現在、43市町村の270園を認定しています。信州の豊かな自然環境と、多様な地域資源を活用した屋外保育を中心とする体験活動を取り入れた保育、幼児教育です。「特化型」の園は全県で15園あり、ちいろばの杜もその一つです。ちいろばの杜は園児26人で、このうち移住者が15人。キャンセル待ちは10組あります。保育は、自然の中での「暮らし」が主体となります。内保さんは「子どもの時に愛したものは、大人になっても守りたく」と、やまほいくで得られるもの大きさと魅力を語りました。



特化型やまほいくの魅力を語る内保亘さん

所管事務調査

さん然と輝きを放つ 武藤さん寄贈の資料

社会文教常任委員会は会期中に所管事務調査を行いました。井戸尻考古館の「初代館長」を務め、今年1月に91歳で亡くなった武藤雄六さんが所有していた民俗資料や古美術品など242点が町に贈られたことを受けて、歴史民俗資料館を改めて視察しました。武藤さんのご遺志により、ご遺族から寄贈された資料は、寄託資料としてこれまで同資料館で保存、公開されていました。

改めて注目してみると、武藤さんが情熱を傾けて収集した資料は、多彩で、たいへん貴重な品々であることを実感しました。寄贈されたのは、農具や民具、大道具など今では収集困難な民俗資料です。展示室の中で、さん然と輝きを放ち、井戸尻歴史民俗資料館の価値を高めています。



歴史民俗資料館に展示されている、武藤雄六さん寄贈の品々を視察

総務経済常任委員会 まとめ

※総務経済常任委員会では、今号に関するモニター回答を担当課毎に「伝えること」と「回答するもの」に分類しました。



総務課へ伝えました

まちづくり支援金のPRについて。まちづくり支援金は富士見をもっと元気にするために必要な事業と思いました。

総経
委員会

町民にもっと告知が必要です。



3市町村の共同宣言に基づく連携強化について、首長や議員だけでなく実際に専門分野で活動している方々、例えば、原村のワイン特区、実践大学の新たな取り組みなど。

総経
委員会

多様性のある情報交換の必要を伝えました。

産業課へ伝えました



観光施設貸付事業特別会計負担金について「観光施設貸付事業特別会計負担金」の投入について、パノラマのみへ適用するというのはどうなのか？パノラマへ集客し、町内観光に収入を得るための施策であったと思うが、実際はそこまでの効果がなかったのではないかと。

総経
委員会

詳細を把握し、町民へ説明が必要です。

議会だよりで回答します



町の就職説明会について。オープンミーティング中止、残念でした。テーマにありました少子化対策とFターン施策ですが、町の就職説明会が曖昧すぎて誰をターゲットにしているのか不明です。移住者だけをターゲットにしているのか、町を進学等で離れた学生に対してFターンなのか、企業側にもそれなりの体制がないと成り立ちません。戻りたくても、就職先が限られ(諏訪地域全体)、学んだ事を活かす場所がないのが現状です。

産業課

町の就職説明会は、Fターンに限らず、ターゲットはぼけていません。富士見町で働き先を探している方々と、人材を求めている町内企業をマッチングする広く開かれた機会ですので、より多くの方々に参加してもらえよう周知を行っていきます。



上下水道の歳出額が多いのはなぜですか？

総経
委員会

上下水道会計の歳出には設備投資の費用が含まれているからです。設備投資には、多額の費用が必要となりますので、計画的に施設の更新、統廃合を進めています。



上下水道会計は赤字経営なのですか？

上下水道課

上下水道事業共に赤字経営に見えますが、実情は少し違います。会計処理方式に大きな違いがあり、上下水道は複式簿記、それ以外の特別会計は単式簿記となります。上下水道事業会計は一般的な企業と同様の経理を行っており、どちらの会計も利益は黒字です。しかし、設備投資に係る費用も含めると、見た目は歳出超過に見えてしまうので、表記の方法に工夫が必要かもしれません。



下水道使用料が値上がりすると浄化槽を設置する家が増えるのでは？

上下水道課

下水道が布設されている区域は、法律上、下水道に接続しなくてはなりません。新築・増改築には下水道の接続が許可要件となります。浄化槽を選択するケースとして、下水道の整備されていない区域、又は建築物の高さが下水道本管より低い場合が考えられます。

- ①議員報酬について ③少子化対策とFターン施策
- ②公共施設統廃合について ④その他

切り取り線

町民の声が議会を動かす

あなたの声を聴かせてください

町民の声が議会を動かす

令和4年度のオープンミーティングが中止となりました。オープンミーティングでお聞きするはずだった3つのテーマに対するご意見、または自由なご意見を議会にお寄せいただきたいと思っておりますので、ご協力を賜りますようお願いいたします。

YOUR FUTURE

あなたの未来

富士見パノラマの風景を舞台として、ダイナミックな滑走の映像と共に世界に発信する『カーブマン』代表。そして、みやま工業有限会社を経営する傍ら、商工会理事として町の産業発展にも注力している小林さんに、地元愛溢れる冬の活動についてお話を伺ってみました。

幼い頃、父親に連れられ町内スキー場でスキーを履いた事をキッカケに、雪山の楽しさを知りました。その後、スノーボードに出会い、25歳から10年間全日本選手権、プロアマ戦など選手として活躍。現在もスノーボードメーカーとのプロ契約を継続し、プロモーションやスノーボード開発に携わっています。また私が代表を務めるチーム【CARVEMAN】は、プロ、デモンストレーター、全日本選手が集まり、映像配信、イベント、大会、レッスンなど、活動の中心を富士見パノラマリゾートにおき、精力的に活動しています。映像や活動を通じ富士見町を知っていただき、多くのファンの方との交流が続くことは嬉しいですね。商工会青年部と協力して、富士見町小中学生スノーボード体験教室を毎年開催してきました。地元の子もたちが自然と触れ合うことで楽しんで成長して欲しいと願っています。



小林 浩樹さん(御射山神戸)